

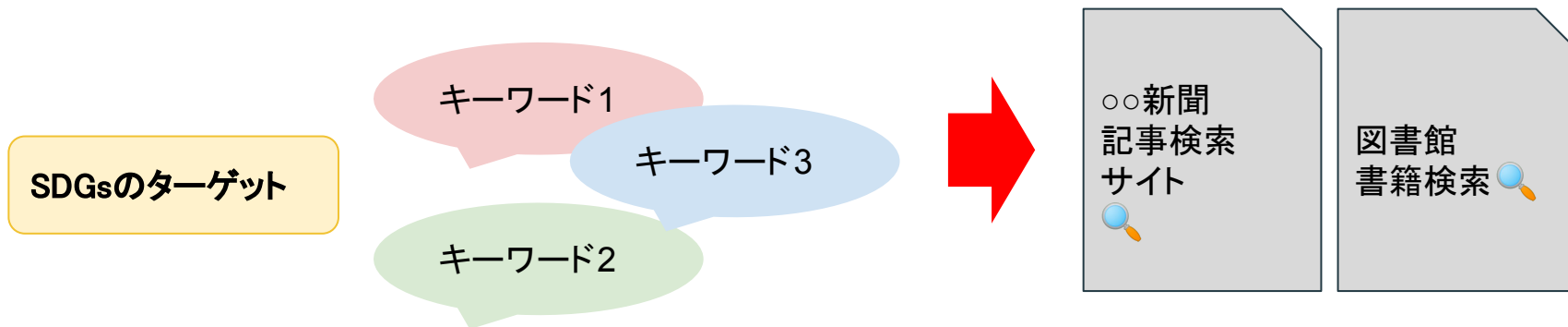
第5回イノチャン

問題分析編 問3 取り組み方の例

問3について

問3は、実社会のニーズについて分析する課題です。SDGsのターゲットから取っ掛かりを見つけ、新聞記事やニュース、書籍などから具体的に日本社会でどんな人々が困っているか、またそれはなぜかなどについて調べていきます。

教科書やSDGsの関連ページなどから日本ではどんな人物像が挙がりそうか当たりをつけ、新聞の記事検索ページで検索ワードとして入れてみたり、図書館で関連しそうな本を探してみるなどして、その具体的な実状を探るのがよいでしょう。



まとめ方の例

以下のページでは、まとめる際にどのような形式があるか、その例を2パターン示します。あくまで例ですので回答するにあたってこれに従う必要はありませんが、参考にしてください。ここでは課題文に示した項目しか調べていませんが、これ以外にも例えば「海外の状況」など、項目を増やすこともテーマによっては有効かもしれません。

ここで、「**困っている原因**」と「**問題が解決しない原因**」の違いについて1つアドバイスすると、前者は**その人が困っている直接的な原因**ですが、後者は**その原因が起こっている原因、つまり間接的な原因**となります。

選んだターゲット:「各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。」

問題の概要	対象となる人びと	困っている原因	問題が解決されない原因	現状行われている対策
ひとり親家庭の子どもの学習達成度や進学希望が生活安定層と比べて低い。 学習達成度: 3倍 進学希望: 4倍以上	ひとり親家庭の子ども	進学や、塾にかかる費用が多い	子育て関連の公的支出が少ない	NPO法人キッズドアなどの団体が、無料の学習支援を行っている
		親が家庭に割ける時間が少ない、面倒を見られない	非正規雇用が多い	ひとり親家庭に向けた10万円給付などの金銭的支援
	

参考文献

・内閣府「平成28年度 子供の貧困に関する新たな指標の開発に向けた調査研究 報告書」第3章
2018.

・東洋経済ONLINE 「普通の日本人が知らない「貧困」の深刻な実態」

<https://toyokeizai.net/articles/-/221708> 2022/6/19アクセス

・東京新聞「「親ガチャ」データで裏付け 貧困層の子「授業わからない」3倍超、進路「中高まで」4 倍超」

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/175684> 2022/6/19アクセス

選んだターゲット:「各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。」

問題の概要	対象となる人びと	困っている原因	問題が解決されない原因	現状行われている対策
若年層の貧困・ホームレス化(いわゆる「トーチ横キッズ」など)	ネカフェ難民など一見ホームレスとは分からないような若者たち?	・入居するだけの資金がない	・相談できる機関がない(断られた)	・若者向けの相談支援、住居支援を行っているNPO
		・借金があり、日々の生活に困っている	・失業してしまっている	...
	

参考文献

- ・[「家あってあたりまえでしょ！」 Z世代の若者がホームレス支援「凍死」や「親子共倒れ」も（今野晴貴） - 個人 - Yahoo! ニュース](#) 2022/6/19アクセス
- ・[20代男性もホームレスに 貧困化する若者たちの支援のありかた \(nhk.or.jp\)](#) 2022/6/19アクセス
- ・東京都『[「住居喪失不安定就労者等の実態に関する調査」調査結果の概要](#)』 2022/6/19アクセス